

(様式4)

教育研究グループ「研究結果」報告書

報告日 平成26年5月7日

グループ名	大田区立大森第六中学校	フリガナ 代表者氏名	サインヨ 税所 要章
学校名 (代表者)	大田区立大森第六中学校	電話番号	03-3726-7155
研究テーマ	地域は屋根のない学校		
研究期間	平成25年4月1日 から 平成26年3月31日 まで		

ホタルの自生を目指したプロジェクトは、本校の環境教育で大きな核となる活動である。ホタルの幼虫を、9ヶ月間校舎内で育て、学校隣接地洗足池に放流した後、さなぎになり、成虫になる。3年目（今年度）は、500匹を放流した。さらに前年度のホタルが自生したことが確認され、地域の人から大変喜ばれた。



さらに、水質浄化のため植生いかだを作成した。この活動は東急電鉄主催の「みど*リンク」で支援を受け、さらに活動報告において、優秀賞をいただいた。

ホタルの幼虫はきれいな水で育ち、汚染されていない土でさなぎになり、汚れていない空気成虫になる。生徒は環境に対する意識と危機感を持つことで、この地域を愛し、持続可能な社会の担い手として、活動することを目指している。

また、様々なボランティア活動を通して、校舎や学校周辺をきれいにすることが、生徒にとって達成感と責任感、規範意識につながり、落ち着いた学校生活に結びついている。（以下、本校ボランティア団体を農援隊。）

東急沿線大岡山駅前花壇整備に大岡山北口商店街の方から農援隊に声をかけてもらい、芝桜を植え花壇整備を行っている。地域や道行く人の憩いの場所となっている。公共財団法人東京都公園協会に東京都市緑化基金助成金交付を申請し認定された。



大田区防災活動拠点整備事業モデル校として、「学校を逃げ込む場所から立ち向かう場所へ」をキャッチフレーズに、中学生ができることを実行する。自助・共助の精神で、地域のリーダーとして活動している。

本校はユネスコスクールに加盟し、その活動趣旨として国際理解があるが、ACC（ACTIONS FOR CHILDREN IN CRISIS）の活動に協力し、Yシャツを送り、ラオス語の絵本づくりをしている。また、中国の教職員の方が来校するなど、国際交流教育を行っている。



これらの活動を通して、人と人とのつながりを大切にし、ものを大切にし、校内が落ち着て、生徒会活動が一層活発化し、学力が大幅に伸びている。人の役に立つことが、自尊感情や社会性の育成につながっている。これらの活動の中に学びの本質があると捉えている。

研究結果 の概要

※詳細は別
紙により
報告

<p>その他</p> <p>特記事項</p>	<p>地域のつながりをとおして、生徒は多くの学びを得ている。ひとえにこのような援助をいただいて初めてできる活動であることを痛感しています。</p> <p>今後ともよろしく申し上げます。</p> <p>25 年度受賞</p> <p>東京都教育委員会表彰</p> <p>ふれあい感謝状 21</p> <p>大田区青少年教育表彰</p> <p>東急電鉄（株）「みど*リンク」 アワード 等</p>
------------------------	---